

尿中タイチン： 筋損傷のバイオマーカー

～発表論文からひも解く可能性～

筋ジストロフィー
急性心筋梗塞
ICU-AW
サルコペニア
運動誘発性筋損傷 etc.

要事前申込

2025年1月22日(水)

参加無料

開催 : 15:00 ~ 16:00 (ハイブリッド開催)

現地会場 : 日本橋ライフサイエンスビル
1006会議室(先着20名)

オンライン : TeamsWebinar使用

演 者 : IBL 営業部 学術担当 富田 正浩

参加登録 : <https://bit.ly/3USkKff>

15:00～オープニング

15:05～論文紹介

15:40～質疑応答

15:45～受託サービスのご紹介

15:55～クロージング

参加登録



IBL News



主催：株式会社 免疫生物研究所

Immuno-Biological Laboratories Co.,Ltd.

〒375-0005 群馬県藤岡市大字東田1091-1

営業部Tel 0274-50-8666 Email : do-event@ibl-japan.co.jp

タイチンとは？

タイチンは筋肉を構成するタンパク質であり、そのN末端側のフラグメント（N-タイチン）は、疾病や運動等により筋肉が損傷を受けると、プロテアーゼによる分解を経て尿中に排泄されます。そのため、筋ジストロフィーをはじめとする筋損傷/筋萎縮を呈する様々な疾患や生理状態のバイオマーカーとして注目を浴びています。

N-タイチンを測定するメリットは？

N-タイチンは【筋損傷】や【筋萎縮】に対して鋭敏に反応する性能に加え、尿から検出できるため非侵襲性であることも、N-タイチン測定の特長です。

N-タイチンを特異的に検出する当社の測定キットは、世界中の研究者より高い評価を得ており、様々な疾患や生理状態の研究に活用いただいております。

本セミナーのテーマ：N-タイチンの可能性を探る

本セミナーでは、N-タイチン測定系を用いた多くの研究論文から、筋ジストロフィー、急性心筋梗塞、ICU-AW、サルコペニア、運動誘発性筋損傷等、いくつか興味深い論文を当社独自の視点でピックアップし要点をご紹介します。N-タイチンの可能性を探っていきます。また、これら発表論文のデータから見えてくるN-タイチン測定の新たな可能性についてご参加の皆様と共に考える機会を持ち、関心のある企業様や研究者の方々と共同研究や新規事業に関する協業などについて意見交換ができる場になりたいと考えております。

■ 申込方法

登録フォームまたは電子メールにてお申し込みください。

【参加登録】

【電子メール】宛先：do-event@ibl-japan.co.jp

【必須】①氏名 ②参加会場（現地orオンライン）

【任意】③所属・部署 ④電話番号

申込後、事務局から登録完了のご連絡をいたします。

参加登録



一緒に探しませんか その扉を開く『鍵』

「抗体」を通じて、世界で難病に苦しむ人々が、
一日も早く、病気を克服し、明るく豊かな暮らしを
営めるよう、社会に貢献いたします。

IBL

